



出雲小だより7月号

令和 5年 7月 3日
大田区立出雲小学校
校長 関 真理子

- い いつでも、どこでも、チャレンジする子
- す ずっと、なかよし、やさしい子
- も もりもり、わくわく、きたえる子

学校ホームページ: <https://www.ota-school.ed.jp/izumo-es/>
住所: 〒144-0044 東京都大田区本羽田1丁目2番4号
電話: 03(3742)3542 FAX: 03(3742)3543



「文部科学省教育課程特例校への申請」

校長 関 真理子

早くも1学期が終わろうとしています。5/8の新型コロナウイルス感染症第5類の引き下げ変更に伴い、保護者、地域の皆様には、子どもたちの健康管理や見守り、声掛けをしていただき、大変感謝申し上げます。ありがとうございます。

6/30・7/3の保護者会では、大田区教育委員会より、独自教科新設「おおたの未来づくり科」についての趣旨説明を実施しました。以下の内容は抜粋です。

現代社会は、ブーカ (Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)) の時代であり、予測困難な時代です。この時代に、子どもたちが乗り越えていかなければならない険しい山々がそびえたっています。大田区教育委員会では、そのようなことを踏まえて、おおた教育ビジョンで社会の変化に主体的に対応し未来を創る力を育成することを最も重点的に取り組むビジョンとしています。

教科「おおたの未来づくり」の実施は、このビジョンを強力に推進するために行う事業となり、大田区独自の教科を全校で行うことによって、大田区の企業等、実社会で活躍する人などに学校を応援していただき、地域の理解と協力を得ながら学習を進めることにつながっていきます。教科「おおたの未来づくり」は、5・6学年が教科として年間35単位時間程で実施していきます。大田区はものづくりだけでなく、環境・文化・にぎわいなどの様々な特色があります。教科「おおたの未来づくり」は、それらの特色を各学校が教科等横断的な学習であるSTEAM教育の視点で見直して教材化し、関係企業・団体等と連携して、児童が、地域・社会をよりよく豊かにするためのものづくりや地域の創生にチャレンジする学習を行う教科です。本校の特別支援学級(5組)での生活単元学習では、まさに、地域企業や地域の人々からの課題をどのように解決していくかについて、地元企業等とかかわり合いながら考えを深め、ものづくり⇒デザイン・構成⇒協働活動⇒販売までの活動実践を重ねています。「ものづくり」における製品開発や「地域の創生」における伝統文化の継承、町づくりへの提案などについて、創造と探究を繰り返しながら学習していきます。1~4学年では、5・6学年の教科「おおたの未来づくり」を支える素地を学習していきます。

そして、このような学習活動を通して、教科等横断的な視点に立った資質・能力である創造的な資質・能力の育成を目指します。

左記の二次元コードは、本校の紹介動画です。保護者・地域の皆様、ご覧いただき、今まで、子どもたちが制作してきた開発レシピや工場紹介動画など、我がまち、大田のよさを再発見してください。スマホ等でかざして、ご覧ください。



限定動画二次元コード <https://youtu.be/v2MNkMIEuZQ>

夏季休業中には、夏わく以外にも、学校では体験できない、わくわく・ドキドキする学びを親子で実践できるよう、支えてください。よろしく願いいたします。学校では、最後まであきらめずに、試行錯誤しながら取り組むことができるよう、子どもたちに働きかけています。たくさんたくさん、頭を使って考える夏、夏しかできないこと、夏を感じる体験を味わってほしいです。引き続き、熱中症等の予防に留意しながら過ごしてまいります。

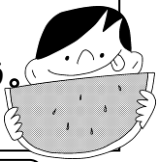
7月行事予定

日にち	曜日	内 容	
1	土		
2	日		
3	月	全校朝会	保護者会(4~6)
4	火	委員会④	SC
5	水	七夕集会	水道キャラバン(4・5組)
6	木	安全指導	
7	金	お話し会(1,3,5)	六郷工科高校コラボ学習 SC
8	土	土曜授業	土曜補習 CAST(1・2・6・5組)
9	日		
10	月	全校朝会	自転車教室(3)
11	火	クラブ⑥	六郷工科高校コラボ学習 SC
12	水	こころの劇場(6)	
13	木	縦割班活動③	
14	金	お話し会(2・4・6)	SC
15	土		
16	日		
17	月	海の日	
18	火	租税教室(6)	SC
19	水	音楽朝会	給食終
20	木	終業式	
21	金	夏季休業日始	
22	土		
23	日		
24	月	夏季水泳指導①	三者面談① わくわく①
25	火	夏季水泳指導②	三者面談② わくわく②
26	水	夏季水泳指導③	三者面談③ わくわく③
27	木	夏季水泳指導④	三者面談④ わくわく④
28	金	夏季水泳指導⑤	三者面談⑤ わくわく⑤
29	土		
30	日		
31	月	夏季水泳指導⑥	わくわく⑥
※夏わくわくは、8/4まで実施 ※予告なしの避難訓練(Jアラート)を実施 ※8/7~8/18は、学校閉庁日のため、忘れ物等への丁寧な対応ができません。 ※安全・安心な夏季休業日を過ごしましょう。 熱中症予防のため、帽子を着用し、水分補給をこまめにしましょう。			
9/1	金	始業式	引渡訓練

7月 生活目標 ていねいな話し方をしよう。身の回りを清潔にしよう。

～です～ますのようなていねいな話し方を考え、場所にあった言葉や声の大きさを話しましょう。

ハンカチ、ちり紙を身に付け、手を洗ったらハンカチで拭きましょう



体育健康教育授業地区公開講座

体育主任 中谷 悠佑

6月10日(土)には、体育・健康教育授業地区公開講座を実施しました。日本コーディネーショントレーニング協会(JACOT)の小田 俊一先生を講師にお迎えして、体幹の感覚をつかむ運動や体幹の動きを手足に伝える運動を児童や保護者も体験しました。この運動は、姿勢の保持やけがの防止などにも、効果がある運動です。場を選ばずに、気軽にできる運動で、次の活動や運動へ促す働きものがあります。ぜひ、一緒に体を動かして取り組んでみてください。



生活のきまりについて

生活指導主任 三浦 晴代

学校には、さまざまな約束やきまりがあります。例えば、「元気にあいさつをしましょう。」「時間を守って生活しましょう。」「廊下は右側を歩きましょう。」などです。

生活のきまりや約束があるのには理由があります。

1 つ目は、多くの児童が同じ場所で過ごす学校には、みんなが安全に、そして、安心して過ごすためです。

2 つ目は、一人一人がしっかり学習するためです。

3 つ目は、社会の一員として、優しく、正しく人と関わるためです。

なぜ、きまりや約束があるかについて、御家庭でもお子さんと話をされたことはあるでしょう。なぜ、きまりや約束があるかを理解することは、児童自身が自らきまりや約束を意識して行動することにつながります。ぜひ、話題にさせていただきますようお願いいたします。

音楽鑑賞教室

5学年 菅野 政昭

大田区教育員会主催の音楽鑑賞教室に参加しました。区民ホール「アプリコ」にて、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団のオーケストラの演奏にふれ、音楽の興味や関心を高めたり音楽の素晴らしさを感じたりすることができました。

以下は、児童の感想です。

- ・演奏はとても迫力があり、きれいな音色に心が動かされた。
- ・指揮者の手の動かし方や体のリズムがすごくて驚いた。
- ・管弦楽は、コロナで行けなかったお祭りを思い出して涙が出た。
- ・初めて管弦楽の演奏を聞いて幸せな気分になった。普段はアニメの主題歌を聞いているので、今後は管弦楽も聞いてみたいと思った。

また、校外での過ごし方もよりよく意識できました。施設内では穏やかに過ごすことや、道路の歩き方など評価できることが多く、実りある校外学習になりました。

生活科について

2学年 瀬尾 雄作

第2学年生活科「大きくそだて わたしの野菜い」では、トマトやナス、ピーマン、オクラの中から選んだ野菜を子どもたちが育てています。「葉っぱが大きくなった。」「くきをよく見ると細い毛みみたいなものがあるよ。」「実ができてきたよ。」などと、たくさんの発見をし、丁寧に野菜を観察しながら育てています。収穫までを楽しみに、学習に意欲的に取り組んでいます。



夏の思い出を十七音に「夏休みだ!親子でチャレンジ!五・七・五」

副校長 小林 正明

本校では、今年も子どもたちの語彙を増やし、言語の力を高めることで、豊かな表現力につなげることを重視しています。言語力が高まることで、子どもたちは新たなことに興味をもち、探求しようとする気持ちも生まれます。知らなかったことを知りたいと思って調べたり、解決しようとして試行錯誤したりすることは子どもたちの大きな生きる力にもつながります。その土台となるのが言語の力です。

そのために、一昨年度から、親子で取り組んでいる夏休みの課題があります。それが「夏休みだ!親子でチャレンジ!五・七・五」です。夏休みの思い出、日常などをお子さんと一緒に「五・七・五」で表してみてください。昨年保護者の皆様から多彩な作品を創作していただき、子どもたちは関心をもって掲示された作品を読んでいます。思わずほえんでしまうものや共感するもの、ハッと思い知らされるものなど、どれも味わい深く、親子でのチャレンジを通して、子どもたちが言葉に興味を深めるきっかけになればと考えています。俳句でも川柳でもよいです。今年度も親子で一緒に夏休みの出来事を表現してみましょう。詳しくは後日、お知らせと用紙を配布いたします。なお、作品は9月7日(木)～11日(月)の夏休み作品展の展示期間に各学年廊下に掲示します。ぜひ、親子で楽しみながら、大切な「十七音」の中に、今年度の「夏」を表現してください。

<教職員のお知らせ>

○7月 1日より、特別支援学級(5組)に新たに柴崎 由美子介添員が着任しました。

○6月21日より、平林 優 生活指導補助員が着任しました。